

大規模災害の後には、電話やメール、インターネットがつながりにくくなります。家族や知人が別々の場所にいる時に安否を知らせ合う方法を事前に決めておきましょう。

問 危機管理課 (☎62-1190)

1.災害時は「つながりにくい」

大規模災害時は、電話やメール、インターネットが混み合います。東日本大震災でも、家族の安否が分からず不安になった人が大勢いました。連絡が取れれば、慌てて帰ろうとする混乱も減らせます。大規模災害時は「つながらないこと」を前提に備えましょう。



2.連絡手段は複数用意する

電話だけに頼らず、災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)、携帯電話会社の伝言板、SNSなど、複数の連絡手段を家族で決めておきましょう。また、スマホの電源切れに備え、家族の電話番号は紙や手帳にも控えておくことで安心です。



3.安否確認ツールを事前に体験する

災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)は、毎月1日・15日、1月1日～3日、防災とボランティア週間(1月15日～21日)、防災週間(8月30日～9月5日)に体験利用できます。いざという時に慌てないよう、平時に試しておきましょう。



4.集合場所を具体的に決めておく

家族がバラバラの時に災害が起きても迷わないよう、安全な集合場所を事前に話し合っ
て決めておきましょう。例えば、避難所である学校を集合場所にする場合は、敷地内のどこ
で会うかまで決めておくことが大切です。



5.避難する時は行き先メモを残す

避難する時は、行き先や連絡先を書いたメモを残しましょう。置く場所は、玄関扉の内側
などの分かりやすい所にし、盗難防止のため玄関の鍵も必ずかけましょう。



わが家の安否確認チェック

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ✓ 連絡手段を3つ以上、家族で共有した | ✓ 171・web171を試した |
| ✓ 家族の電話番号を紙や手帳に書いた | ✓ 安全な集合場所を具体的に決めた |

災害への備えは家族の話し合いから。今日、話し合ってみませんか。

避難する際の安全な場所は、避難所だけではなく。自宅、親戚の家、車の中など、それぞれに合った避難先を家族で整理しておきましょう。

問 危機管理課 (☎62-1190)

1.避難先は避難所だけではない

避難所のほか、在宅避難、安全な親戚・知人の家への避難、車中泊避難など、方法は複数あり
ます。まずはハザードマップ(☎1019750)で周りにどのような危険があるか確認し、最善
の避難先を考えましょう。



2.在宅避難ができる条件と備え

自宅に倒壊・浸水の心配がなく、安全に過ごせることが第一です。家具の固定や家の耐震
も大切です。市HP(☎1021780)の備蓄品を参考に、1週間分の水・食料・携帯トイレに加え、
カセットコンロやカセットボンベも準備しましょう。



3.車中泊避難は健康リスクに注意

プライバシーやペットなどの事情で車中泊を選ぶ人は、長時間同じ姿勢をとることによる
エコノミークラス症候群、夏の熱中症・冬の低体温、一酸化炭素中毒に気を付けましょう。足
を伸ばして水分を取り、こまめに体を動かして車内の換気を心掛けてください。車中泊ガイド
(☎1015099)を確認し、いざという時に備えましょう。



4.避難所は「地域みんなの支援拠点」

避難所は、在宅避難や車中泊避難の人にも物資や情報を届ける拠点です。避難所開設時
は、避難所以外へ避難している場合でも、支援を受けるために、最寄りの避難所で家族全員
の氏名と滞り場所を登録してください。

大規模災害時は、ご近所同士の声掛けや助け合いが、みんなの安心につながります。



わが家の災害への備えチェック

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ✓ 自宅周辺のハザードマップを確認した | ✓ 水・食料・携帯トイレを1週間分備えた |
| ✓ 避難先の候補を家族で整理した | ✓ 在宅・車中泊でも避難所で登録する |

「どこへ逃げるか」を決めておくことが、命を守る第一歩です。

コラム ペットの災害対策、できていますか？ 問 環境推進課 (☎62-1017)

ペットも一緒に安全に避難できるよう、日頃から備えましょう。

- ▶ ケージに入ることに慣れるよう、しつけをする
- ▶ 迷子札やマイクロチップを付けて所有者を明示する
- ▶ ペット用の備蓄品を準備する
 - ・フードと水(最低5日分、できれば7日以上) ・キャリーバッグやケージ ・トイレ用品
 - ・薬や療法食 ・予備の首輪やリード(伸びないもの) ・食器(普段使っているもの)

◆ペット同伴で避難できる避難所があります

市内の市立15小学校・6中学校で、ペット同伴避難ができます。詳細は、ペット防災手帳(☎1002832)をご覧ください。

